

壇上 成美さん（広島県尾道市出身）
2017年度3次隊 青年海外協力隊
派遣国：パナマ 職種：環境教育
2019年4月21日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

紙芝居を作り環境教育

大西洋と太平洋をつなぐ海洋交通の要であるパナマ運河を有するパナマ共和国は、南北アメリカ大陸のちょうど境に位置する。乾期と雨期があるが、一年を通して過ごしやすい熱帯気候の国である。ネットで「パナマ」と調べれば、海岸沿いに外国人向けの高層マンションやビジネスビルが立ち並ぶ様子が見られる。

しかし、そんな高級住宅地のすぐ隣にもトタン屋根の続く貧困地域が広がる。このような光景もパナマの一つの顔である。あちこちに散乱するごみや不衛生な生活環境からは、いまだ発展途上国であるという現実を感じざるを得ない。



キャプション：
自作の紙芝居で、小学生に「MOTTAINAI」の考え方を教える授業

私は子どもたちに環境教育プログラムを実施している。廃棄物の適切な処理プロセスを持たないままペットボトルやプラスチックを大量消費するこの国で、子どもにまず伝えたいことは無駄遣いを減らすこと。

そのため、日本の考え方の一つである「MOTTAINAI（もったいない）」について紙芝居を作り子どもたちに伝える。異国の文化を理解してもらうことは簡単ではない。だが半年間のプログラムも後半になると、手付かずの食べ物を捨てようとする友達を止めるような子どもも出てきた。子どもたちの交流の中、少しずつ変化は起こせると実感した瞬間である。

自然や、身の回りの人や物を思いやり、生かされているありがたさを忘れることなく、未来に思いをはせることのできる人材が増えること。それが環境教育隊員の目指す未来である。